

今日のトピック

# インド中銀、政策金利を据え置き

## ポイント1 政策金利を7.25%に据え置き

### 市場の大方の予想通り

- インド準備銀行(RBI、中央銀行)は4日、政策金利(レポ金利)を7.25%に据え置くことを発表しました。
- 昨年半ば以降に物価上昇率が大幅に低下したこともあり、RBIは政策金利を今年1月、3月、6月に0.25%ずつ引き下げました。市場では、その後発表された5月と6月の消費者物価指数の上昇率が連続して前月を上回ったことなどから、RBIが今回は政策金利を据え置くとの見方が大勢でした。

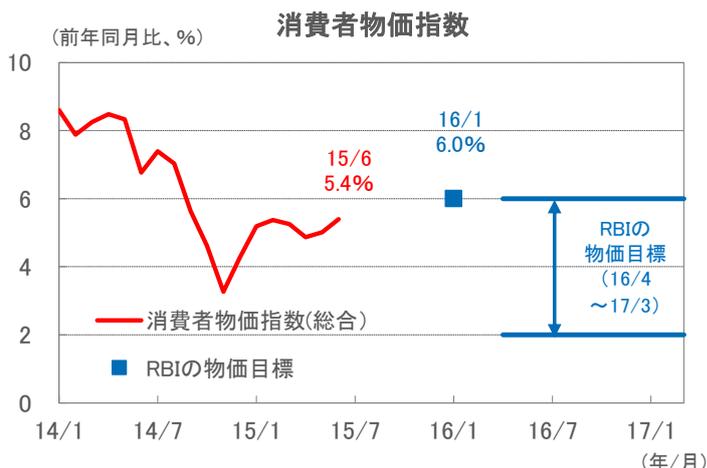


(注) データは2013年8月1日～2015年8月4日。  
(出所) Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

## ポイント2 物価上昇の兆しを警戒

### これまでの利下げ効果を見極め

- RBIは、6月の物価が想定から上振れたと指摘しました。食品の価格が前月から上昇したほか、食品や燃料以外の分野の価格は、4月以降上昇が加速しているとの見方も示しました。
- 景気については、輸出や投資が伸び悩んでいるものの、消費が都市部を中心に持ち直しつつあり、緩やかな回復傾向が続いているとしました。
- 物価上昇に加速の兆しが見られることから、RBIは、今回は政策金利を据え置き、これまでの利下げが景気回復の持続につながるか見極める姿勢をとったと見られます。



(注) データ期間は2014年1月～2015年6月。  
物価目標はインド準備銀行(RBI)による。  
(出所) Bloomberg L.P.、RBIのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

## 今後の展開 現在の緩和的なスタンスを維持しながら、追加緩和の余地を見極め

- RBIは、現在の緩和スタンスを維持しながら、さらなる緩和余地の発現を注意深く見極めるとし、追加利下げの可能性を否定しませんでした。市場では、RBIが環境次第で追加利下げを実施する可能性は残っていると受け止める向きが目立ちました。
- 次回会合は、9月29日に予定されています。それまでの間、RBIはモンスーンシーズン(6月～9月)全体の天候、米国の金融政策(9月17日)、原油価格やインドルピーの動きなどを注視していくと思われます。

ここもチェック! 2015年07月23日 「モンスーン国会」注目の改革法案(インド)  
2015年07月14日 最近の指標から見るインド経済(2015年7月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。